

志布志港国際コンテナターミナルの 岸壁延伸決定をお祝いしました。

志布志港新若浜地区国際コンテナターミナルの岸壁延伸が平成30年度事業として予算化されたことについて、4月11日(水)に志布志市主催の記念セレモニーが開催されました。志布志市役所の正面玄関前に国、県、市及び港湾関連企業の関係者約100人が参列し、事業の予算化をお祝いしました。

本事業は、既存の岸壁(-14m)280mを北側に更に80m延伸するもので、事業完成により船舶の大型化や航路数の増加による取扱コンテナ数増加に対応し、現在度々発生している滞船の解消に繋がります。

セレモニー開会直後の下平晴行市長のあいさつでは、「志布志港が南九州の物流拠点として発展することが、日本全体の競争力強化と共に地元への企業誘致と雇用創出に繋がる。早期の安全な整備を期待します。」とのお言葉をいただきました。次に当事務所所長による事業概要説明、来賓のご挨拶と続き、最後にくす玉開披と懸垂幕掲揚を行い、参列者の拍手でセレモニーを終了しました。



ご挨拶なされる下平市長



くす玉開披の様様



市庁舎に掲揚された懸垂幕



事業概要